事例No.	2155
公表年度	R4
団体の属性	町村
団体名	長野県高森町

事例区分	DX

タグ	・ICT ・（行政改革）業務の効率化 ・人材確保・育成

事例種類	地域におけるデジタル人材の育成

事例内容・タイトル

地域で活躍する農業委員・教育委員に対するタブレットの導入

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

175 地域で活躍する農業委員・教育委員に対するタブレットの導入【長野県高森町】

事業の概要

○　高森町では、町議会議員、自治体職員に続き、区長、農業委員、教育委員に対する公務用のタブレットを導入した。

○　会議等において、資料をタブレット上で確認することに加え、農地調査の現場でGPS機能を活用して位置を特定する、現場の写真を撮影して記録するなどして活用している。

○　タブレットを活用することにより、紙媒体で印刷する手間の省略や印刷費用の削減につながるとともに、コミュニケーションツールによるオンライン会議等を行うことができる。





【参考情報①】 人口：1.3万人
関連URL：　ー

【参考情報②】新型コロナウィルス感染症対応 地方創生臨時交付金（内閣府）とは
URL：https://www.chisou.go.jp/tiiki/rinjikoufukin/index.html

もっと知りたい！　担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）



委員会の資料が多く、紙と準備時間を費やしていたことが出発点です。各タブレットにクラウドの資料共有システムを導入しましたが、今後は現場写真をより簡単に共有できるチャットツールの導入や、Zoomなどによるオンライン会議の併用を検討したいと考えています。

（高森町）



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



内閣府の新型コロナウィルス感染症対応 地方創生臨時交付金を活用しました。



これから事業を考えている自治体に向け一言お願いします。



実際、使う側のPC知識に大きく依存すると思います。タブレット自体の使い方といった基本操作のほか、専用モバイルルータ以外の無線接続（各自宅のWifiやスマホ経由のテザリング）など、委員の習熟度に見合った運用面のサポートも必要となります。

★担当：高森町総務課★

令和3年度事業費　2,235千円
（うち、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（内閣府）　2,218千円）